

平成25年度 事業計画

日本リウマチ財団は、昭和62年の設立以来、着実な事業推進により多大な成果をあげてきた。平成23年4月1日より公益財団法人に移行し3年目を迎え、今後はさらに、その基盤を確固たるものとするために従前から実施している各種事業の一層の充実強化を図る他、関係団体と連携してリウマチ性疾患の征圧に対する社会の要請と期待に応えるように努め、より高い公益性を追求した事業を展開して来たところであるが、このところ、財源難が続いていることから、既存事業の一部は規模の縮小、新規事業については協賛等により財源確保が見込まれる事業を実施したい。

平成25年度の主な事業は次のとおりである。

1 調査・研究及びその助成事業

- (1) 中長期的な研究計画のもとにリウマチ性疾患の治療研究を行う。
- (2) リウマチ性疾患治療薬等の治験の円滑実施を検討推進する。
- (3) リウマチ性疾患の病因究明、治療、予防・疫学等に関する広範な調査研究の助成を行う。
 - ア 平成25年度リウマチ性疾患調査・研究助成（公募）
7課題 各100万円助成
 - イ 平成25年度三浦記念リウマチ学術研究賞
アの7課題のうち1題を選考し助成する。
 - ウ その他
- (4) 平成25年度ノバルティス・リウマチ医学賞（300万円）（公募）
リウマチ性疾患の本態解明に関する研究で生命科学、情報科学、遺伝・環境科学、薬物科学等の分野で、顕著な功績を挙げた研究を顕彰し賞金を授与する。
- (5) 平成25年度（第16回）日本リウマチ財団柏崎リウマチ教育賞（100万円）
リウマチ性疾患に関する医学教育、患者教育、社会教育等の功績を顕彰し賞金を授与する。
- (6) 平成25年度日本リウマチ財団リウマチ福祉賞（記念楯、20万円）
リウマチ性疾患に悩む患者に対して永年にわたる医学的又は社会的救済活動を通じて、著しく貢献のあった個人または団体を顕彰し賞金を授与する。
- (7) リウマチのケアに関する事業を推進する。
- (8) 医療情報網の整備等について調査研究を行う。

2 普及啓発事業

- (1) 日本リウマチ財団ニュースを年6回発行し、リウマチ財団登録医等に配布する。
- (2) 平成25年度リウマチ月間（6月）啓発ポスターを作成し、医療機関、保健所、市町村保健センター等に配布する。
- (3) 「平成25年度リウマチ月間リウマチ講演会」を開催する。
月間事業に併せ同一会場において、医学賞等の授賞式を挙げる。

開催月日	開催場所	
平成25年6月9日（日）	東京都	丸ビルホール

患者・患者家族等、一般市民の参加が減少傾向にあることから、徐々に医師等医療従事者に配慮した講演とし、教育研修単位が取得できるよう配慮する。

- (4) 新しいリウマチ医療の導入、リハビリテーション医療のあり方等にかかる医療保険制度の問題点について検討し改善策を当局に提案、実現に努める他、診療報酬等に関する情報をリウマチ財団登録医等へ提供する。
- (5) リウマチ財団登録医の診療レベルの向上、リウマチに関する知識の普及啓発事業の展開を図るため、リウマチ財団登録医の会又は、リウマチ医の会の活動を推進する。
- (6) ホームページ・リウマチ情報センターを運営する。
リウマチ財団登録医等が必要とする情報を適宜、迅速に収集・提供し、頼られる情報センターとなるために活動を強化するとともに、逐次ホームページのリニューアル、システム改善の他、リウマチ情報センターにおいて対応した質疑応答の点検、充実を図る。
- (7) 財政好転時に備え、「リウマチ診療の記録（Color Atlas）及び「リウマチ患者さんのQ&A」の出版・eラーニング制作の準備作業に着手する。

3 教育研修事業

- (1) リウマチ財団登録医等の教育の一層の推進に寄与するため、リウマチ教育研修会を開催する。昨年までは、研修会名称に各都道府県名を冠していたが、今年度から広域的なブロック名を付すことにより、受講者増を図る。

地区名	開催月日	開催場所
北海道・東北地区	平成25年 6月30日（日）	山形国際ホテル
関東・甲信越地区	平成25年11月23日（土/祝）	東京ステーション コンファレンス
東海・北陸地区	平成25年12月 8日（日）	
近畿地区		
中国・四国地区	平成25年10月 6日（日）	JRホテルクレメント高松

九州地区	平成25年10月13日（日）	佐賀市文化会館
------	----------------	---------

- (2) リウマチのトータルケア推進のため、リウマチの治療とケア研修会及びR A トータルマネジメントフォーラムを開催する。

ア リウマチの治療とケア研修会

下表のとおり開催することとし、今年度から参加者一律2千円の受講料を負担してもらうこととする。

地区名	開催月日	開催場所
北海道・東北地区	平成25年 8月10日（土）	リンクステーションホール青森
関東・甲信越地区	平成25年 7月21日（日）	日石横浜ホール
東海・北陸地区	平成25年 9月22日（日）	福井商工会議所
近畿地区	平成26年 3月16日（日）	ノボテル甲子園
中国・四国地区	平成25年11月10日（日）	
九州地区	平成26年 1月26日（日）	ホテル熊本テルサ

イ 第15回R A トータルマネジメントフォーラム

開催月日	開催場所	
平成26年2月1日（土）	東京都	品川インターシティホール

- (3) 登録リウマチケア看護師研修会

経過措置による登録希望者の資格取得の機会を増やすため開催する。今年度は、経過措置期間最終年度の開催となる。

開催月日	開催場所	
平成25年7月28日（日）	東京都	灘尾ホール

- (4) 既存のインターネットを利用したeラーニングによる教育研修の充実に努める。
(5) 財団主催以外の教育研修会について教育研修単位の認定を行う。
(6) 海外派遣研修医制度に基づく事業として、海外研修のため派遣する医師5～6人を目途に助成する。(100万円)
(7) 日欧リウマチ外科交換派遣医制度に基づき、今年度は欧州へ若手医師2名を派遣する。
(8) 国際学会におけるリウマチ性疾患調査・研究発表に対し助成する。

国際学会においてリウマチ性疾患調査・研究を発表する若手研究者に対し、登録費用及び旅費、宿泊費用を対象として1学会について原則3名以内（国内で開催する国際学会は5名以内）に助成する。

学会名	助成対象金額	開催月日
ヨーロッパリウマチ学会（EULAR）	30万円	平成25年6月12日～15日

アメリカリウマチ学会（ACR）	25万円	平成25年10月26日～30日
アジア太平洋リウマチ学会 （APLAR）シンポジウム	15万円	平成25年8月30日～9月1日
国内で開催する国際学会	5万円	

※3-(6)、(7)、(8)は、原則としてリウマチ財団登録医であること。

4 リウマチ財団登録医の養成事業

- (1) 平成25・26年度新規リウマチ財団登録医の審査登録を行う。
25年（25年3月1日～5月31日）、26年（26年3月1日～5月31日）
- (2) リウマチ財団登録医名簿（完全版）を作成し、リウマチ財団登録医等に配布する。
- (3) 改正登録医制度のもと、リウマチ財団登録医のネットワーク、リウマチ財団登録医の会の充実に努めるとともに、病診連携等の強化等により、リウマチ医療の施設間格差、地域格差の解消を目指す。

5 リウマチケア専門職制度の推進

看護師を対象に平成22年度より発足した「日本リウマチ財団登録リウマチケア看護師」制度については、第4次の募集、第1次の更新の登録を行う他、他職種についての制度創設について検討することし、今年度は日本リウマチ財団登録リウマチ性疾患専門薬剤師（仮称）について検討し、具体化する。

6 災害時リウマチ患者支援事業の推進

東日本大震災における災害時リウマチ患者支援事業の検証結果を踏まえ、より実効性のある支援事業を実施するため、ネットワークの再構築等体制強化を進める。

7 国際交流及び関係団体への助成事業

- (1) 国際交流を深めるため役員等の海外派遣を行う。
- (2) リウマチ学に関する学術会議等の開催に対し助成を行う。
- (3) リウマチ患者団体の情報提供、医療相談等の活動に対し助成を行う。

8 その他事業

- (1) 平成23年8月、厚生労働省が公表した「今後のリウマチ対策の方向性等」の確実な実施を厚生労働省に働きかける。
- (2) 各大学、国公立病院にリウマチ診療科の設置を働きかける。
- (3) 各都道府県リウマチ財団登録医の会及びケア研究会の設置に努める。

- (4) 賛助会員の増加に努める。
- (5) リウマチ性疾患に関する調査・研究等の助成事業に充当するため募金活動を推進する。
- (6) リウマチ関係団体が行う大会、講演会等リウマチ対策の推進に寄与すると認められる事業については後援、協賛を行う。
- (7) リウマチケア専門職制度検討会を窓口として、欧州リウマチ学会リウマチ専門ナース制度に関する情報交換を積極的に行い、その浸透に助力する。
- (8) 時代のニーズを踏まえた事業が実際の医療現場と連動して展開できるよう、賛助会員の相互理解や交流を深める場として、法人賛助会員打合会を開催する。